

日本人男性の平均的な生涯労働時間は9.5万時間にも及ぶというデータがあります。平均寿命を80歳として、20歳から60歳までの間に1日約9時間の労働を週休2日で続けると9.5万時間。人生80年のうち約11年間は働いている計算です。何のために今の仕事をしているのか。改めて自分に問いたくなる秋の夜長です。

痛快! えだまめ君

画: (ほり) ひろ計



知ってこ! 「税務の3X知識」

【処分不服がある場合には?】

国税の税務調査などで申告漏れなどの指摘をされた企業や個人は、処分不服があれば処分の通知を受けた日の翌日から3カ月以内に(1)「税務署長等に対する再調査の請求」か(2)「国税不服審判所長に対する審査請求」のいずれかを行うことができます。また(1)により決定した処分にお不服がある場合には、決定の通知を受けた日の翌日から1カ月以内であれば(2)を行うこともできます。さらに(2)によって裁決された処分にお不服がある場合には、その裁決があったことを知った日の翌日から6カ月以内に、裁判所に「訴訟」を提起することができます。このように税務署長等が行った処分にお不服がある場合には、(1)や(2)を経るなどして最終的に訴訟となります。近年の訴訟では、東京国税局から約3995億円の申告漏れを指摘された日本IBMの持ち株会社が、国に約1200億円の課税処分取り消しを求めた訴訟がありました。この訴訟は今年2月にIBM側の主張が認められて課税処分が取り消しになりました。国税庁の発表によると処分を不服として裁判で争う件数は平成24年度340件、平成25年度290件、平成26年度237件と年々減っているようで、平成27年度は231件と平成16年度552件の半分以下でした。減少の背景には、税務調査のルールが明確になったことなどがあるようです。



今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

<p>「ここぞ」という時のために力を蓄えておく吉。何かと迷いやすい運勢のようなので身の丈を考えた行動を!</p>	<p>一歩下がって物事を眺めると発見が多い月のようです。また忍耐と落ち着きが無難に過ごす術となりそうです。</p>	<p>それまで抱えていた問題を解決するのに良い月。方針を決める際には周囲の意見を参考にするとよいでしょう。</p>	<p>物事に積極的に取り組み、実力を発揮するよう心掛けると好結果につながります。手堅い蓄財が金運アップに!</p>
--	---	---	---

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【答えは心の底にある】

「分かりました」と言いながら、ちっとも分かっていない人。
歌の文句のようですが、このような人はたくさんいます。商売をしていけばよくお分かりでしょう。本人に悪気はありません。なぜならその場では分かったつもりでいるからです。ところが実際にはほとんど忘れてしまうので、結局また同じことを伝える羽目になります。本人に問題がある場合もありますが、「分かったつもり」は誰にでも起こることなのです。もちろん自分自身が「ちっとも分かっていない人」になっていることもあるでしょう。

さて、次の問いは行動変化を起こすための研修で使う手法です。

●聞いたことは（ ） ●見たことは（ ） ●やったことは（ ）

（ ）には「分かる／身に付く・覚えている・忘れる」のどれかが入ります。正解は、「聞いたことは忘れる」「見たことは覚えている」「やったことは分かる／身に付く」です。では、「（ ）ことは使う」の（ ）にはどんな言葉が入るでしょうか。「ふ（腑）に落ちる」の「腑」とは「心の底」のこと。口でいくら「分かりました」と言っても、心の底で納得しないとふに落ちないようです。それでは、心の底で納得するためにはどうしたらいいのか。その答えが「（ ）ことは使う」につながります。「気付いたことは使う」もしくは「発見したことは使う」。

要するに、自分で見付けたことは自ら行動に移すということです。自分で見付けたから忘れにくく、忘れないから使うという単純な原理ですが、そこには「自分で気付いた」という喜びがあることを見逃してはいけません。自分で答えを見付けた喜びが行動の第一歩になるのです。自分で考えなくてもすぐに答えが手に入る便利な時代ですが、それが行動に結びついていなければ、その答えにあなたは納得していないのかもしれないかもしれません。まずは自分自身や目の前の商売を振り返ってみてください。あなたはその答えに心の底で納得していますか？



トレンドを斬る

農林水産省の青年就農給付金制度の後押しで脱サラし、農業を始める若者たちが増えています。この制度は45歳未満が対象で

年間最大150万円が一定の条件のもとに支給されるものです。技術の習得や販路の拡大、近隣農家との付き合いなど、忍耐力とコミュニケーション能力が問われるために苦勞も多いですが、土に直に触れて収穫することで心は癒され自然と共に寝起きする生活には計り知れない喜びがあるとか。これにより農業高齢化の歯止めとなるかが期待されます。



トナリの本棚

【天才】

元東京都知事で作家の石原慎太郎が、「俺」という一人称を使って、故・田中角栄元首相が独白する形式で書いた本です。かつては田中氏を金権政治家として批判していた著者が、なぜ「天才」と評価したのか。日本の政治を振り返る一冊です。



木永会計事務所
(有)ブレイン・トラスト

〒861-8003

熊本市北区楠7丁目1-66

電話：096-337-3600 FAX：096-337-3601

<http://www.kinaga.co.jp>